

多様性経営促進へ 企業5社の事例発表

国際女性デー

2024



県内企業のダイバーシティ経営の取り組みを紹介する大学生（左）ら＝水戸市文京

女性活躍推進などに取り
組む県内モデル企業の事例
を発表する「いばらきダイ
バーシティ&インクルージ

ョン（D&I）」が21日、水戸市文京の茨城大図書館で開かれた。人の多様性を組織に生かす「ダイバーシティ経営」促進が狙い。県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」が主催した。関心を持つ学生や企業関係者ら約70人が参加し、理解を深めた。

事例発表は企業取材した大学生が担当した。筑波大2年の岩岡知里さん（20）は鈴木ハープ研究所（東海村、鈴木さちよ社長）の取り組みを紹介。同社は男女問わず産休・育休の取得や時短勤務を推進し、人生設計やライフステージに応じ柔軟な働き方を認めている。

（矢幡佳那子）

る。将来的には子連れ出勤も導入する方針だという。岩岡さんは「魅力的な職場環境が職員のモチベーションになり、すてきな商品開発につながっていると思う」と感想を述べた。

同社のほか、関東道路（筑西市）▽鈴縫工業（日立市）▽日電気グループ（茨城町）▽ライフサポート山野（水戸市）の4社の事例が紹介された。

事例発表後には、交流会が開かれた。本年度と昨年度のモデル企業などがブースを出展し、各社のD&Iの取り組みについて情報交換した。